

6/26
五福

核禁条約会議

持続可能な社会へ
核兵器廃絶が必要

オーストリアの首都ウィーンで21～23日に開かれた核兵器禁止条約第1回締約国会議では、米国の大学生マルシーナ・ラングリンさん（20）の発言（22日）に注目が集まりました。すべての人の尊厳と持続可能な社会のために核兵器の廃絶を訴えました。要旨を紹介します。（カイーン＝吉本博美　写真も）



金葉屋

の製造、実験、使用になぜ血のを守るために
よる最も重い負担も彼
にしかかっていま
す。誰もが大切な存在
で、誰もが話を聞いて
もらう資格がありま
す。
核兵器を保有・維持
するための膨大な費用
を人々に再分配し、人
権と尊厳が守られる持

核の脅威だけでは、続可能な社会を作るべき、気候危機、シェンガニ等、貧困、人権侵害、種差別など多くの喫緊の課題が人類を、私たちの将来を脅かしています。国際社会は女性、有色人種、若者、社会から取り残されたグループの声を拾いきれていません。歴史はこうし、人々が常に不当な影響を受けてきました。核兵器の開発と使用をやめ、持続可能な開発目標（SDGs）達成の重要な世界を構築することを、私たちの責任です。